

ムジナスゲ

カヤツリゲサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

Carex lasiocarpa Ehrh. var. *occultans* (Franch.) Kükenth.

選定理由

県内の既知の産地は1ヵ所のみ。北方系の種で、国内の分布の南限にあたる。(現況:R-)

形態

ビロードスゲに似るが、葉幅は1~3mmと細く、果胞の嘴は短い。

国内分布

北海道、本州(中部以北)。

県内分布

加賀中央区(金沢市医王山大沼)。

生態など

根茎は長く伸びて株はまばらに群生する。花期は5月頃、果実は6~8月に熟す。

生育環境

高層湿原や湿地、湖沼の縁など。大沼では浮島上に生育している。

危険要因

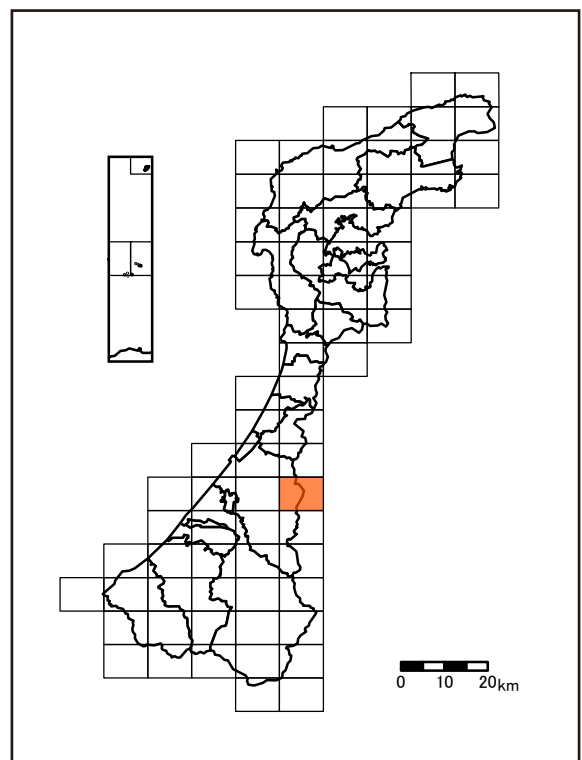
水質汚濁、自然遷移、産地局限。大沼は外来魚が放され水質が悪化、生育地となっている浮島は大型のヨシが繁茂して、モウセンゴケやミツガシワとともに群落の衰退が著しい。

特記事項

医王山県立自然公園内にあり、特定植物群落に指定されている。



林 二良・2005年5月27日・金沢市



県内の分布